

(株)RR（下関市一の宮卸本町、富田重喜社長）が認知症高齢者による徘徊への対策として提供している位置情報サービス「見守っちょる」について下関市が8月1日からサービス利用希望者に対する購入費補助制度を開始した。位置情報サービスで市町が補助制度を導入するのは県内では初めて。

「見守っちょる」はRRがNTTドコモ中国支社が提供するGPSを利用した「かんたん位置情報サービス」を活用した見守りサービス。徘徊のおそれがある認知症高齢者などに小型GPS端末を装着。家族が携帯電話やスマートフォン、パソコンから現在位置を検索できるほか、高齢者が端末のボタンを押すことで位置情報を家族に通知できる。エリアを設定することで高齢者が設定エリアを出たら家族がメールで通知を受けることもできる。

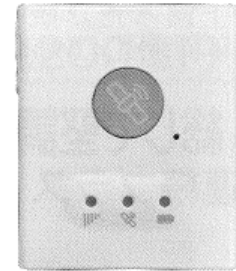
オプションとして小型GPS

端末を収納できる専用シューズと、ベルトに装着可能な専用アタッチメントがある。端末は横38.5mm×縦45.5mm×厚さ11.85mm。本体価格は完全レンタルプランが月々2,980円、機器買取りプランは初期費用が19,800円（補助対象初期費用は特別価格15,120円）で月々1,500円。下関市は機器買取りの補助対象初期費用15,120円の一部を補助する。

下関市は認知症高齢者の安全確保や家族の身体的・精神的負担の軽減を目的に購入費補助を始めたもの。(株)RRは2014年12月設立、安全安心・環境・カルチャー事業を手がけている。関連会社に(株)林材（下関市）と山口県ウッドシステム(株)（同）がある。

徘徊対策のGPS位置情報サービスが下関市の購入補助対象に

(株)RR



小型GPS端末



専用シューズ